

各大学におけるESDへの取組み状況とユネスコスクール等に対して
提供可能な支援措置に関するアンケート調査 回答票

学校名 金沢大学

ホームページ：<http://www.kanazawa-u.ac.jp/>

担当者

(職名) 環境保全センター長・教授

(氏名) 鈴木克徳

(連絡先) E-mail：suzukik@staff.kanazawa-u.ac.jp

電話/Fax：076-234-6899

(注) 本調査を補完するような資料がある場合には、必要に応じ添付して下さるようお願いいたします。

1. 各機関における既存の活動

(1) ESDに関連する学内教育活動について、講義名、対象学生の種別等をご記入ください。

番号	講義名	担当教員名	概要
	地球環境と持続可能な社会づくり	鈴木克徳	共通教育、金沢大学のESDに関連する教員によるオムニバス形式ESD授業、2単位

(注) 概要欄には、講義のESDとのかかわり、認定単位数、修了要件への該当、受講者の種別、受講者数等を記載する。

1. 共通教育において、「環境ESDリテラシー」特定プログラムを中心としたESD関連科目を実施。
2. 専門科目においては、学域をまたぐ「環境ESDリテラシー」特定プログラムの上級版につき検討中。
3. 大学院科目においては、ESDに関する共通4科目を開講。さらに、平成22年度から英語による日中韓「環境・エコ技術特別コースによる環境教育」を開講。
4. 金沢大学環境報告書

(http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_sisetu/kankyuu/torikumi/report/2013.pdf) を参照。

(参考)「環境・ESDリテラシー」特定プログラム

【概要】

「文明の大転換期」とも言われる今日、私たちには、人類が直面する資源、エネルギー、食糧、人口、気候、環境等の地球規模の問題や、国内における少子高齢化、地方文化の衰退等の問題に、積極的に取り組むことが求められています。

そのような人づくりを進めるため、国連による「持続可能な開発のための教育—ESD—の10年」が2005年から始まりました。日本は国連への提唱国として、これを国内外に積極的に推進しています。

本学も「金沢大学環境方針」に基づき様々な対策を推進するとともに、国内外で活躍できる環境人材の養成を重点課題の一つと位置づけました。本プログラムは、各学類での専門教育の域を超え、持続可能な社会をいかに構築するかについての体系的な知識を習得し、問題解決に向けた実践的能力を身につけることを目指します。

【学習目標】

持続可能な社会をいかに構築するかについての体系的な知識を習得し、問題解決に向けた実践的能力を身につけることを目標とする。

【修了要件】

表中の必修科目および選択科目 A、B、C の3群から修了要件内訳に従って科目を選択・履修し、合計9単位以上を修得すること。

区分	科目名	単位数	修了要件内訳	共通教育科目区分	備考
必修	地球環境と持続可能な社会づくり	2	2単位	総合科目(大テーマa)	
選択	A群 環境と技術	2	A群から4単位以上	総合科目(大テーマb)	
	持続可能社会のエネルギー技術	2		総合科目(大テーマb)	
	環境動態学概説	2		一般科目(自然)	開放科目(国際学類)
	金沢入門—自然と風土—	2		総合科目(大テーマa)	
	環境政策論	2		テーマ別科目(大テーマa)	開放科目(地域創造学類)
	環境思想	2		テーマ別科目(大テーマa)	開放科目(法学類・地域創造学類)
	英語 III (専門セミナー)	2		言語科目	環境と健康

					に関する医学類提供科目
	微生物と人間社会	2		総合科目(大テーマc)	
B 群	里山体験実習 in 角間 (エコロジー)	1	B 群から1単 位以上	総合科目(大テーマb)	いしかわシ ティカレッ ジ開講(集中 講義)
	里山体験実習 in 角間 (生活体験)	1		総合科目(大テーマb)	いしかわシ ティカレッ ジ開講(集中 講義)
	里山体験実習 in 能登半島	1		総合科目(大テーマb)	いしかわシ ティカレッ ジ開講(集中 講義)
	里海体験実習 in 能登半島	1		総合科目(大テーマb)	いしかわシ ティカレッ ジ開講(集中 講義)
	ゼミ/角間の里山づくり 春・夏編	2		テーマ別科目(大テーマb)	
	ゼミ/角間の里山づくり 秋・冬編	2		テーマ別科目(大テーマb)	
	環境の現場に学ぶ	2		テーマ別科目(大テーマa)	
	海の動物の探索演習	2		テーマ別科目(大テーマb)	いしかわシ ティカレッ ジ開講(集中 講義)
	身体・スポーツ実技/野外活動	1		テーマ別科目(大テーマb)	
C 群	ハロー・ケミストリー	2	C 群から2単	テーマ別科目(大テーマ	

			位以上	b)	
	文化人類学	2		一般科目(人間)	
	多文化共生の時代を生きる	2		総合科目(大テーマ a)	
	北陸・石川の自然地理と地域	2		一般科目(社会)	開放科目(人文学類・地域創造学類)
	地域の科学 C	2		一般科目(社会)	
	地域の科学 D	2		一般科目(社会)	
	環境文学	2		テーマ別科目(大テーマ a)	
	人文地理学入門	2		一般科目(社会)	

今年度に開講しない科目も含まれます。時間割表で確認してください。

(2) ESDに関連する研究活動について、ご記入ください。

金沢大学環境報告書

(http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_sisetu/kankyou/torikumi/report/2013.pdf)

を参照。

(3) ESDに関連する地域貢献活動について、ご記入ください。

① 初等中等教育へのESD教育支援活動が行われている場合、内容をできるだけ具体的に記述してください。

・ 出前授業等の教員・学生による専門的知見の提供があれば記述してください。

対象（高校、中学校、小学校、幼稚園・保育園、その他）

- ・ 要請に応じ、ESDに関する教員研修を実施。
- ・ 角間の里山を活用した幼稚園における自然教育プログラムを開発中。モデル事業を実施中。
- ・ 教育実践支援センターによる学校への指導・助言に際し、ESD的な観点を示唆。
- ・ 金沢大学での中学生の環境研修。

(参考)地球環境基金等を活用した支援活動

平成 25 年度地球環境基金事業 ESD を活用した北陸における生物多様性保護等の推進事業実施状況

平成 25 年 1 月 20 日

1. プロジェクトの概要

平成 17 年から開始された「持続可能な開発のための教育の 10 年」は、平成 26 年秋に我が国で開催される最終年會合に向けて、学校教育をはじめとする様々な活動の一層の推進が図られている。他方、生物多様性の保護については、平成 23 年から「国連生物多様性の 10 年」が開始されたが、まだまだ国民には浸透していない。そのため、生物多様性保護の全国的な展開に向けてユネスコスクール等の学校での ESD 教育を活用することが合意されている。そのモデルとして、北陸で ESD を活用した生物多様性保護のための教材やカリキュラム作成を進めるとともに、学校におけるモデル・プロジェクトの推進等を図る。

平成 25 年度においては、主として以下の活動を、関係自治体、大学、北陸経済連合会等との連携・協力のもとで実施する。

- ① 初等中等教育での生物多様性に関する ESD モデル教材、カリキュラム開発と ESD モデルプロジェクト実施（石川県、富山県、福井県で 2～3 件程度）
- ② 学校教師等向けの生物多様性等に関する講座（石川県、富山県、福井県で各数回／年程度）
- ③ 幅広く市民に生物多様性保護・ESD を周知するための ESD シンポジウム（石川県、富山県、福井県で各 1 回／年）
- ④ 教育委員会、自治体等による生物多様性保護・ESD 研修等の支援
- ⑤ 上記活動を企画推進する北陸 3 県の ESD 推進連絡協議会開催

2. 事業実施状況

北陸 3 県の関係自治体、NPO/NGO、ユネスコ協会、北陸経済連合会等との連携・協力の下で以下の活動を行いつつある。

- (1) 初等中等教育での生物多様性に関する ESD モデル教材、カリキュラム開発等による ESD モデルプロジェクト実施
 - ・石川県：金沢大学角間キャンパスを用いた幼稚園児・保育園児の自然保護・里山教育用カリキュラム開発・試行的実施（平成 24 年度からの継続事業）
金沢大学附属幼稚園（毎月 1 回）、私立馬場幼稚園（四季それぞれ 1 週間程度）を対象として具体的な活動を実施。
 - ・富山県：光陽小学校プロジェクト
古里小学校プロジェクト（里山プロジェクト）[特別追加]
 - ・福井県：鳴鹿小学校プロジェクト

(2) 関係地域の教育委員会等との連携による学校教師等向けの生物多様性等に関する講座

石川 (2回)

第1回：ESD 石川 t と共催

H25年10月2日 (金沢大学 50周年記念館)

「ESD を巡る最新の内外の動向」

第2回：持続可能な人材育成プロジェクト (金沢市立泉中学校) 発表会 (H26年2月20日)

富山 (5回)

第1回：富山市立堀川小学校 ESD 実践発表会

・H25年11月1日 (堀川小学校)

第2回：富山市立寒江小学校 ESD 公開授業

・H25年11月14日 (寒江小学校)

第3回：富山市立中央小学校 ESD 実践事例研修会

・H25年11月15日 (中央小学校)

第4回：富山市立五福小学校 ESD 実践発表会

・H25年11月15日 (五福小学校)

第5回：富山市立光陽小学校 ESD 実践発表会

・H25年11月19日 (光陽小学校)

福井 (2回)

第1回：小浜市立内外海小学校 ESD 研修会

・H25年8月26日 (小浜市立内外海小学校)

第2回：持続可能な人材育成プロジェクト (坂井市立鳴鹿小学校) 発表会

・H26年2月23日)

(3) 幅広く生物多様性保護・ESD を周知するための ESD シンポジウム

・石川県：H25年11月17日 (日) 内灘町との共催事業

・富山県：H26年1月25日 (土) 富山市ファミリーパークで開催

・福井県：H26年3月1日 (土)、福井大学教育大学院ラウンドテーブルと共催

(4) 教育委員会主催の講習会・研修会、学校教師による既存の教科別研修会等での ESD 関連講義の実施推進に向けた講師派遣等の支援

・金沢ユネスコスクール交流会議 (金沢市教育委員会主催、第1回 H25年4月30日) への参加、情報提供

・石川県の学校教師による ESD 研究組織 (ESD 石川 t) 支援

・富山市の学校教師による ESD 研鑽会支援 (年間6回の研修に対して講師派遣)

・石川県教育センター ESD 研修

・石川の里山里海学習リーダー教員養成研修：H25年5月29日、金沢大学能登学者

・教員初任者研修 環境教育：H25年10月3日、金沢大学 50周年記念館

・福井大学教職大学院ラウンドテーブル ESD セッション：H25年6月29日、福井大学

・個別校での研修会への貢献等

H25年5月27日 富山市立中央小学校 ESD 研修
H25年6月1日 富山市立堀川小学校教育研究実践発表会
H25年7月2日 金沢市立千坂小学校授業視察、助言
H25年7月16日 富山市立堀川小学校 ESD 研修会
H25年8月7日 金沢市立千坂小学校 ESD 研修会
H25年8月8日 福井県坂井市立鳴鹿小学校 ESD 研修（前園先生）
H25年8月26日 小浜市立内外海小学校 ESD 研修会（再掲）
H25年10月29日 金沢市立千坂小学校 ESD 研修会
H25年10月31日 金沢市立米泉小学校 ESD 研修会
H26年1月24日 金沢市立千坂小学校公開学習会
H26年1月28日 金沢市立西小学校 ESD 研修会
その他適宜実施

・社会教育等関係

社会教育主事講習（H25年8月19日、金沢大学地域連携センター）

第19回社会医学サマーセミナー特別講演（H25年8月23日志賀町富来活性化センター）

いしかわ環境フェア2012でのESD展示・講演（H25年8月24・25日、石川県産業展示館4号館）

地方消費者グループフォーラム in 北陸、H25年11月18日、石川県立音楽堂
角間里山ゼミ「ESDと里山」H25年12月20日、金沢大学

(5) ESD周知普及のためのホームページ等の改善

- ・大学コンソーシアム石川のESDホームページの改善
- ・金沢大学中央図書館ユネスコスクールセクションの活用推進

(6) 上記活動を企画推進する北陸3県のマルチステークホルダーによるESD推進連絡協議会全体会合

- ・第1回会合 H25年7月12日（H25年度事業計画の検討、ESDを巡る最新の情報の共有）
- ・第2回会合 H25年12月24日（H25年度事業中間報告、H26年度事業計画（交付要望書）の検討、ESDを巡る最新の情報の共有）
- ・第3回会合 H25年2月／3月（H25年度事業報告承認、H26事業について）

[参考] 他のESD関連活動

1. 日本ユネスコパートナーシップ事業（金沢大学実施分）

① 第1回ユネスコスクール支援大学間ネットワーク会議

H25年7月13日 東工大浜松町キャンパス

第2回ユネスコスクール支援大学間ネットワーク会議

H25年11月30日 玉川大学

② 東海・北陸ユネスコスクール交流会議

H25年8月11日 13:30～16:30 金沢都ホテル

③ 関連活動

ユネスコクラブ全国サミット H25年11月30日

第5回ユネスコスクール全国大会 H25年12月1日

2. 北陸における潜在的なユネスコスクール支援大学連絡会合

第1回：H25年9月25日 10:00～12:00（金沢大学）

第2回：H26年2月27日

3. H25年度環境省持続可能な地域づくりを担う人材育成事業

富山県：富山市立古沢小学校

石川県：金沢市立泉中学校

福井県：堺市立鳴鹿小学校

4. HESD（高等教育機関におけるESD推進）フォーラム 2013in 金沢

H25年10月26～27日（金沢大学）

5. ESD 地球市民会議気候変動教育と防災教育セッション

① 第1回プレワークショップ H25年8月22日（東京、EPC）

② 第2回プレワークショップ H25年9月11日（岡山市役所）

③ 本セッション：H25年10月19日（岡山）

6. その他

・愛知県西尾市立西尾小学校 ESD 研修：H25年6月13日

・ESD-J 全国ミーティング第3分科会司会・基調講演：京山 KEEP を中心とする学社連携について
H25年6月16日、岡山市京山公民館

・日本環境教育学会 ESD 発表：H25年7月6～7日、びわこ成蹊スポーツ大学

・里山文学シンポジウム：H25年7月20日、金沢大学

・開発教育協会第31回開発教育全国研究集会：H25年8月17～18日、富山

・愛知県職員 ESD 研修：9月10日（愛知県東三河総合庁舎）

・日本教育社会学会 ESD 発表：H25年9月21～22日、埼玉大学

・ESD 地球市民会議、H25年10月18日、岡山

・地球環境基金報告会 H25年11月30日、東京フォーラム

・第3回アジア環境人材育成研究交流大会、H25年12月13～14日、有明 TFT ビル

- ・小中学校等の学校と共同で学生が実施する活動があれば記述してください。
(例えば街路のゴミ拾い等)

- ・ESD推進に資する教材開発があれば記述してください。

開発された教材：

ビデオ教材：

- ・なぜ今私たちは環境問題に取り組まなければならないか
- ・廃棄物問題とライフスタイル
- ・里山里海関連ビデオ

- ・ESDを選択できるような社会人向け（大学院）コースはありますか？

ある場合、内容をできるだけ具体的に記述してください。

- ・富士フィルム角間里山ゼミ

(<http://blog.goo.ne.jp/repu/e/ec0f8a0b17bebfac8848332ba4e437e5>)

月2回、1年間の連続講座

金沢大学角間キャンパスには、7.4 ha（後楽園ドームの16倍）の「里山ゾーン」があり、大学の教育研究だけでなく、地域に開放するさまざまな取り組みを行っています。このたび、里山ゾーンの森づくりと人材養成のための「角間里山ゼミ」を開講します。最先端の講義、インテンシブな個別指導とディスカッションを重視したゼミ、フィールドワークを通して自身の課題を研究できます。

<第1期生 募集概要>

●受講期間： 2013年12月～2014年11月（1期生）

○受講時間： 月2回（原則として第2、4金曜） 18:30～20:00

●場 所： 金沢大学角間キャンパス（角間の里、里山ゾーンなど）

○対 象： 社会人（年齢制限なし）、学生・院生

*里山、問題自然共生持続型社会づくりに関心のある方

*一年間継続して受講できる方○受講料： 無料

●問合せ先： 金沢大学里山里海プロジェクト代表 中村浩二特任教授

E-mail kojink@staff.kanazawa-u.ac.jp / Tel 076-264-6089

- ・ ESDを対象とする教員免許状更新講習科目があれば記述してください。

- ・ 「ESD入門」を平成26年度から開講すべく文部科学省に申請中。

② ESD分野でのその他の地域貢献活動はされていますか？

例：公民館や博物館等との連携活動

ユネスコスクールを中心とする初等中等教育のESD支援

- ・ 大学コンソーシアム石川を通じた地球環境基金事業
 - ・ 主として教員向けESD研修（北陸各県でそれぞれ年間3回程度）
 - ・ ESDモデル事業（北陸各県でそれぞれ年間1～2件程度）
 - ・ ESDシンポジウム（北陸各県で年間1回）
- ・ 日本／ユネスコパートナーシップ事業（文部科学省委託事業）
平成25年度は8月11日に東海・北陸ユネスコスクール交流会を金沢で開催。

2. 上記以外で今後、各機関が提供できるESD分野のサービス

- ・ 専門的知見の提供・教員への助言（例えば防災教育、国際理解教育等）
- ・ 出前授業
- ・ 教材の提供
- ・ (〇〇分野の) カリキュラムの共同開発 等

上記のようなサービスを提供されている場合、具体的に記述してください。

- ・ 出前授業等については相談に応ずる。
- ・ 各分野の専門家に関する照会に対応して助言を実施。
- ・ ユネスコスクール間の内外の交流相手先の照会に対応して助言を実施。
- ・ 金沢大学中央図書館にユネスコスクールセクションを設置し、ESD及びユネスコスクール関係の豊富な文献へのアクセスを提供。

3. 各機関におけるESDの持続性を支援するための体制

- ・例えば教員研修（FD）、職員研修（SD）を活用した学内におけるESDの周知方策
- ・カリキュラム検討委員会、その下のWG等で継続的にESDカリキュラムの開発、改善を実施。
- ・必要に応じ、金沢大学環境委員会で検討。

4. ESD分野での他大学との連携

- ・ 2007年度からHESDフォーラムに参加。
- ・ 2008年度からユネスコスクール支援大学間ネットワークに加盟。
- ・ 2010年度から北陸における潜在的ユネスコスクール支援大学間ネットワーク加盟大学会合を開催。

5. その他の関連活動

アンケートへのご協力大変有難うございました。